

(様式2(1))

事業所名:: グループホーム松風

目標達成計画

作成日: 平成 27年 1 月 11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
7	2	定例となっている夕涼み会への地域の方の参加や、道づくりへの参加での交流にとどまって	他の方法も検討し、こちらが出向いて行ったり来てもらえる機会を検討する。	* 敬老の日のイベントと絡めて、地域の幼稚園児との交流	9ヶ月
6	3	地域の中にグループホームがあることを知られていなかったり、中に入ってこられたことがない	地域の方にきてもらう機会を持つ	* 地域の方へ向けての見学会の実施	2ヶ月
1	7 14 36	定期的な勉強会が実施できていない	定期的に勉強会を行う	* 2ヶ月に1回の割合で勉強会を実施する 7 虐待防止法関連 36 日常業務の中で意識し、全職員で確認し合う 34 応急手当の基礎知識の習得と定期的な訓練の実施	12ヶ月
2	24	日々のコミュニケーションの中でご入居者の生活歴の事を聞き取ることもあるが、認知症の為、事実でない内容が伝えられることがあり、職員は事実確認が困難	現状より深く、ご入居者の事を知る	* ご家族にも協力を得て、生活歴を知る	6ヶ月
3	43	定時誘導を行っているが、パットの使用を減らすような意識や、排泄パターンを理解する意識を全職員がもてていない。	パットの使用を減らす	* 排泄の自立支援へ向けての意識の統一 * 排泄パターンを理解しパットの使用を減らす	3ヶ月
4	45	現状のまま行っている入浴介助に改善点はないのか見直す機会がなかった	入居者個人の希望する入浴方法に近づける	* ご入居者の入居前の入浴方法を知る * どのような入浴を希望されているのか把握する * 対応策を検討	3ヶ月
5	48 49 50	個別に外出する機会が少なく、一人ひとりの希望に応じての外出援助が、全員に出来ていない	全入居者それぞれが希望する場所への外出の機会をもつ	* ご利用者の担当職員が主となり、個別の希望を把握し、実践につなげる	10ヶ月